

11月の野菜

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,730	やや下回 る	12,778	54	185	63	8	0	千葉・神奈川産は面積前年並みであるが、台風や曇天の影響で生育は遅れている。中旬は、出荷が遅れていた関東産の数量が増加してくる見込み。総体では入荷は前年平年をやや下回る見通しで、価格は平年を上回る見込み。
はくさい	11,701	下回る	12,656	47	226	46	18	0	茨城産は面積が前年並みであるが、曇天の影響で生育は遅れている。長野産は平年に比べて切り上がりは早まる。上中旬は、長野産が減少するが、遅れていた茨城産の数量が増加してくる見込み。総入荷量は前年平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。
ほうれんそう	1,893	やや下回 る	1,660	295	142	417	5	0	群馬、茨城、埼玉産は面積は播種時期の長雨により若干減少で、作柄は順調であった前年よりやや劣るが、今年10月と比較すれば回復傾向。上旬は、天候回復とともに各産地の出荷量が増加してくる見込み。総入荷量は前年より少ないが、平年を上回る見込みで、価格は平年より若干上回る見込み。
ねぎ	5,230	前年並み	5,796	249	108	234	286	5	青森産は台風により下等級が前年より若干多め、秋田・新潟・茨城産は面積が前年並みで作柄良好。上旬は、関東産の出荷が増加してくる見込み。下旬は、東北産が切り上がりで減少する見通し。総入荷量は前年並みも平年を下回る見込みで、価格は平年を上回る見込み。
きゅうり	4,775	やや下回 る	4,693	305	115	374	26	1	埼玉・群馬産は面積がやや増、曇天の影響で抑制タイプの作柄は良くない。宮崎産は面積前年並みで作柄良好。上旬は、抑制タイプが不作であるため数量は少ない見通し。中下旬は、越冬タイプの数量が増加してくる見込み。総入荷量は前年比微減もほぼ前年並みで、価格はやや下回る見込み。
トマト	6,902	下回る	5,403	292	154	416	17	0	熊本産は面積が前年並み、気温高・曇天の影響で小玉傾向で作柄は前年に比べて良くないが、下旬には回復してくる見込み。愛知産は面積が前年並み、作柄は九州産よりやや良い。千葉産は面積前年並み、作柄は熊本産と同様に良くない。中下旬は各産地の出荷量が増加してくる見込み。総入荷量は前年の大幅減だが平年よりやや多い見込み、価格は平年をやや上回る見込み。